

No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額		③ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				④ 本事業前 の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果(⑤)の評価理由(具体的に) ※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由(原因) 等についても記載願います	⑦ 事業費総額(①)の内訳 ※「〇〇委託料:〇〇円」等の内訳を記載願 います	⑧ 指標値に対するH28実績値の内容	⑨ 外部有識者からの評価		⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について			
			過年度	実績額	指標	指標値	単位	目標年月	H27実績値	H28実績値	事業効果				事業の評価	外部有識者から の意見	今後の方 針	今後の方針の理由		
			後年度	予算額																
1	新規就農者確保・育 成等総合支援事業 (農業経営者育成事 業)	【①新規就農研修生の育成】農業機械の操作 技術向上、栽培技術・知識の習得、営農・資金 計画の樹立に向けた実践的な研修を実施する とともに経営継承方式による就農を円滑に進め るための総合的な支援体制を構築する。 【②農業後継者の育成】冬期農業講座を開催 し、農業技術力・経営能力の向上を図る。	H27年度	6,884,231	指標①	新規就農研修生	1	戸	H29.3		1	①経営継承方式による新規就農は、資産一括譲渡により新規就農 者、離農者、双方にメリットのある仕組みであり、経営基盤を持たな い新規就農者の経営安定化が早期に図られる手法である。また、新 規就農者の確保は今後の農地流動化及び農家戸数減少対策となっ ていることから事業効果は高い。(H28年度:研修生:1名、研修2年目 を計画通り実施) ②本年度における冬期農業講座は講座内容の充実化が図られたこ とにより受講者数で昨年の延べ25名から延べ64名と大きく増加し たことから事業効果は高い。	(1)新規就農予定者の農業研修支援事業補 助金:540,000円 (2)各種研修等報償:15,000円		指標値を達 成し事業効 果があった		事業の継 続	実績値から本事業が効果的 であることから事業を継続 し、地域農業の担い手確保 及び人材育成を更に強化す る。		
					指標②	冬期農業講座受講者 数	50	名(延 べ)	H29.3	64										
			H28年度	5,536,083	指標③															
			H29年度	7,421,000	指標①	新規就農研修生	1	戸	H30.3											
					指標②	冬期農業講座受講者 数	50	名(延 べ)	H30.3											
1	新規就農者確保・育 成等総合支援事業 (農家青年配偶者対 策事業)	農業センター実習と農家実習を自由に組合せ できる仕組みの農業体験実習生受入事業は担 い手対策協議会を通じて実施し、農業に興味 を持った女性実習生を積極的に受入する中で、農 業体験を通した農家青年との交流の場を自然 な形で設定し、農家青年の成婚率向上を図る。	H27年度	7,121,619	指標①	農業体験実習生	3	名	H29.3		4	・農業体験実習生4名を受け入れし、独身農家青年宅での農家研修 を実施した。交際には発展しなかったが、農家青年との交流の場を 設定することができた。平成27年度、実習生のうち1名が実習終了 後、本町へ移住を果たし、実習中に親交のあった農家青年と交際中 であることを例に挙げると事業の継続化により、その効果が現れる ことから事業効果は高い。	農業担い手対策協議会負担金:1,732,000円		指標値を達 成し事業効 果があった		事業の継 続	実績値から本事業が効果的 であることから事業を継続 し、農業体験の場を提供す る中で農家青年との交流の 機会を設定し、成婚率向上 を図る。		
					指標②															
			H28年度	6,719,996	指標③															
			H29年度	10,802,000	指標①	農業体験実習生	3	名	H30.3											
1	新規就農者確保・育 成等総合支援事業 (農業振興事業)	独自性と有益性を兼ね備えた新規作物や新た な栽培技術を地域へ提案、普及するべく各種試 験栽培に取り組み、研究・調査を実施する。ま た、新たな特産品として知名度が高まりつつあ る「伏せ込みアスパラガス栽培」については、早 期出荷と高収化の両立化を図る難題に取り組 んでおり、引き続き研究・調査を継続するととも に関係機関と連携し、生産者戸数増加に向け た普及推進を図る。	H27年度	9,732,879	指標①	伏せ込みアスパラガ ス栽培戸数	6	戸	H29.3		7	・7戸の生産者によって取り組まれている日本唯一の11月初旬出荷 のアスパラガス冬季栽培は市場において、その希少価値が高く評価 され、破格の価格で流通している。生産者7戸では少ない印象を持 たれたが、本町農業は大規模畑作経営が主体の地域であり元来、 施設園芸作物は普及しにくい環境の中、本町農業史上初の冬季野 菜生産となる本栽培の7戸は異例であり道内産地では最多である。 よって、その事業効果は高い。	消耗品費:3,605,195円		指標値を達 成し事業効 果があった	高校との連携を 含めて、更なる ブランド化を目 指して欲しい。	事業の継 続	実績値から本事業が効果的 であることから事業を継続 し、道内最先端の冬季生産 アスパラガス栽培技術の研 究に取り組み、更なるブラン ド力向上を下支えする。		
					指標②															
			H28年度	10,498,150	指標③															
			H29年度	10,473,000	指標①	伏せ込みアスパラガ ス栽培戸数	7	戸	H30.3											
2	地域しごと支援事業	本町においても農業後継者不足が問題となっ ており、農業後継者確保が課題となっているこ から、経営継承できる農家子弟と農外から新規 参入する新規就農者に対し、就農支援を行うこ とにより、農業後継者確保と本町農業の持続的 発展を図ります。	H27年度	3,000,000	指標①	新規就農者数 新規農業従事者数	3	人	H29.3	4	9	新規就農者や新規農業従事者に対し就農支援を行うことにより、農 業後継者を確保することが出来た。	(1)就農奨励補助金 :7,144,367円 (2)農用地賃貸料補助金: 519,696円 (3)経営安定補助金 : 3,264円 (4)青年就農給付金 :1,500,000円	○新規農業従事者9名 学卒 5名、Uターン 4名	指標値を達 成し事業効 果があった	事業の継 続	新規就農者や新規農業従 事者等を確保し、本町農業 の持続的な発展を図るた め。			
					指標②															
			H28年度	9,167,327	指標③															
			H29年度	13,423,000	指標①	新規就農者数 新規農業従事者数	3	人	H30.3											
3	森林認証材活用促進 事業	付加価値促進を図るために森林認証材買取時 に上乗せを行い、認証の普及促進を図る。(補 助率1/2、事業者の連携が条件、上限250万円)	H27年度	2,602,664	指標①	認証材の生産量	5,800	m3	H29.3	5,371	4,398	森林認証材を、住宅供給のため計画的及び使用量調整を行い、産 出したため指標値を下回ったものです。 なお、認証材住宅は着実に効果を上げています。	製材:3,353.023m3×1,000円×1/2 ダンネージ材:267.988m3×600円×1/2 パルプ材:777.763m3×400円×1/2 皆伐:5契約 間伐:4契約	計画的に伐採を行っているため、指標 値と異なる。	指標値を下 回ったもの の事業効果 があった(見 込める)	事業の継 続	実績値により、本事業が効 果的であったため、継続的 な取組をすることで、森林認 証区域の拡大を推進する			
					指標②															
			H28年度	1,912,457	指標③															
			H29年度	2,500,000	指標①	認証材の生産量	5,800	m3	H30.3											
4	美幌町産材活用促進 事業	美幌町産FSC森林認証材の利用促進により、 森林資源の地産地消の推進・町内経済の活性 化・町内住宅の良質な住環境整備を図る。	H27年度	12,840,000	指標①	建築住宅戸数	10	棟	H29.3	17	10	美幌町全体の住宅建築戸数が減少していますが、その中でも森林 認証材使用戸数は美幌町全体の65%を認証材を使用した住宅で あり、事業効果はありました。	補助金 8,280,000円 認証材使用量: 212.7242m3 町内工務店実施率:65% (全体 23戸÷町内 15戸＝ 65.2% 内認証材使用戸数 10戸)	建築住宅戸数・認証材使用量は、その 年の状況で変わるため、増減はありま すが、これを行うことにより事業効果・町 内循環システム等の効果を検証いた きたい。	指標値を達 成し事業効 果があった	事業の継 続	実績値により、本事業が効 果的であったため、対象拡 充を図り、美幌町産FSC森 林認証材の利用促進及び町 内住宅の良質な住環境整備 を更に発展させる			
					指標②	森林認証材使用量	212	m3	H29.3	325	212									
			H28年度	8,280,000	指標③															
			H29年度	17,400,000	指標①	建築住宅戸数	20	棟	H30.3											
					指標②	森林認証材使用量	400	m3	H30.3											
5	森林認証材ブランド 化推進事業	美幌町産FSC森林認証材を使用して、価値の 高い建材等にするため、新たな乾燥技術(コ アドライ)を取り入れ、FSC認証材の地域ブラン ド化を目指し、販路開拓及び町内外へ普及・PR を図る。(平成27年度国の補正予算に伴い、町 でも平成27年度繰越明許費である。)また、美 幌町産FSC森林認証材を使用した新製品の開 発を行う。	H27年度	0	指標①	コアドライ材加工量	30	m3	H29.3		55	今後、FSC認証コアドライ材の普及促進を図っていきます。	地方創生加速化事業「森林認証材ブランド 化推進事業補助金」 町→森林組合への委託事業 委託料「8,669,000円」 コアドライ構造材試験研究費 コアドライ技術検査・登録 コアドライ活用住宅模型製作 コアドライの普及・PR・販路拡大 等		指標値を達 成し事業効 果があった	積極的なPRと 町内外への普 及をお願いし たい。	事業の継 続	FSC認証コアドライ材を町 内外の新築住宅へ普及させ 地域循環を図っていく。		
					指標②	コアドライ材モデルハウス	2	棟	H29.3											
			H28年度	8,669,000	指標③															
			H29年度	1,000,000	指標①	新開発製品	10	品	H30.3											

No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額		③ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				④ 本事業前 の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果(⑤)の評価理由(具体的に) ※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由(原因) 等についても記載願います	⑦ 事業費総額(①)の内訳 ※「〇〇委託料:〇〇円」等の内訳を記載願 います	⑧ 指標値に対するH28実績値の内容	⑨ 外部有識者からの評価		⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について				
			過年度	実績額	指標		指標値	単位	目標年月	H27実績値	H28実績値				事業効果	事業の評価	外部有識者から の意見	今後の方 針	今後の方針の理由		
			後年度	予算額																	
6	はじめての木づかい 事業	1歳を迎えるお子さんを対象に美幌町産FSC森 林認証材を使用した木製品をプレゼントするこ とで、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」感 情豊かな心を育む木育活動を推進する。	H27年度	653,400	指標①	木製品贈呈数	140	人	H29.3	121	112	指標値を下回っ たものの事業効 果があった(見 込める)	対象者の減少により指標値を下回っているが、事業効果としては、 大変喜ばれています。	消耗品費 604,800円 内訳:積み木セット 46コ 車ハズルセット 20コ 魚釣りセット 35コ お椀セット 11コ 計112個	住所異動(転出等)を除けば、対象者に 対してほぼ連絡を受けて、プレゼントを 贈呈できました。	指標値を下 回ったもの の事業効果 があった(見 込める)	新しい商品として 後々使えるよう に写真立てなど 考慮してはどうか。	事業内容 を見直し 発展させ る	実績値により、本事業を通して 木育活動を推進し新商品 開発を視野に入れ、美幌町 産森林認証材で作られた木 製品を発展させる		
			H28年度	604,800	指標③																
			H29年度	756,000	指標①	木製品贈呈数	140	人	H30.3												
7	林業館管理事業	美幌林業館きてらす(美幌駅併設)の維持管理 を行う。(平成27年度は、林業館改修事業として、 当該施設の改修を行い「木育ひろば」を設置する ものも含む)	H27年度	39,415,810	指標①	来館者数	25,000	人	H29.3	20,437	29,638	指標値を達成し 事業効果があつた	美幌林業館は昭和63年3月に設置され26年が経過していたが、当該 施設の改修を行ったことにより、子供達が屋内で木の遊具等で遊べる 「木育ひろば」を設置することができた。 美幌町内だけでなく、町外からの利用者も多く、目標値を大きく上回 り、認知が高いことが伺えた。	施設管理委託料 3,098千円 内訳:施設維持管理費 537千円 施設用燃料費 372千円 修繕料 50千円 人件費 1,950千円 事務費 189千円	月ごとにはバツキはありますが、来館 者数は年間通しては大体一定してい る。	指標値を達 成し事業効 果があつた	小学3年生以上 と幼児とは遊 び方が異なる 上、広散的に小 学3年生以上が 安心安全に遊 べる施設を今後 考慮して欲しい。	事業の継 続	実績値により、本事業は非 常に効果的であったため、 来館者の把握及びニーズを 収集し、より安心安全な木育 広場を提供できるように更に 維持管理を発展させる		
			H28年度	3,098,000	指標③																
			H29年度	3,604,000	指標①	来館者数	26,000	人	H30.3												
9	観光振興事業	観光入込客数のさらなる増加のため、各関係団 体との連携を図り、美幌町の個性や特色を活か した観光振興施策を展開し魅力ある観光地づく りを実施するとともに、さらなる情報発信を図 る。 29年度は国の事業である「阿寒国立公園満喫 プロジェクト」において、国・道・町が連携しな がら観光客の更なる集客に向けて美幌峠園地の 整備等を図る。	H27年度	3,113,607	指標①	観光入込客数	810,000	人	H29.3	806,390	712,930	指標値を下回っ たものの事業効 果があった(見 込める)	H28は道東を襲った台風等の影響が大きく、目標を下回ったが、美 幌峠イベントの実施など、各関係団体と連携を図り、観光入込客数 増加のための事業を推進した。		指標値を下 回ったもの の事業効果 があつた(見 込める)	既存の観光資源の磨き上げ を行いつつ、新規の観光資源 を育て、入込数の増加を図 る。	事業内容 を見直し 発展させ る	既存の観光資源の磨き上げ を行いつつ、新規の観光資源 を育て、入込数の増加を図 る。			
				(14,564,239)	指標②																
			H28年度	2,643,455	指標③																
10	空港交通便利性向上 事業	女満別空港発、美幌駅経由美幌峠行きバスに ついて、継続運行を図るとともに利用促進に向 けて情報発信に努める。	H27年度	800,000	指標①	利用者	400	人	H29.3	420	384	指標値を下回っ たものの事業効 果があつた(見 込める)	H28は観光シーズンにおける台風の影響が大きく目標を下回った が、各関係団体と連携を図り利用促進に向けた情報発信に努めるこ とにより、ある程度の効果あつたものと思われる。	バス運行維持負担金 756,000円 (株)阿寒バス(株)	7月16日～10月10日(87日間)、 1日2往復の利用者数	指標値を下 回ったもの の事業効果 があつた(見 込める)	PRの工夫が必要 要。	事業の継 続	関係機関と協議し、周知方法 など改善しつつ、さらにたく さんの方が利用しやすいよう を検討する。		
					指標②																
			H28年度	763,600	指標③																
11	まちのセールスマン 事業	美幌町の景観や公共施設、特産品などを掲載 したミニPR紙を作成し、美幌町民が町外・道外 で名刺等を配る際に活用してもらい、町全体で 美幌町のPRを図る。	H27年度	-	指標①	町民配布枚数	20,000	枚	H29.3	-	9,610	指標値を下回っ たものの事業効 果があつた(見 込める)	配付希望者の内訳として、町職員12名、議員4名、会社等9件、個人 21名となっている。会社や個人の希望者割合が多く、様々な分野 の方々に、広いPR活動を行えた。	印刷製本費 : 453,600円	平成28年度 名刺作成枚数 12,000枚 配付枚数 9,610枚	指標値を下 回ったもの の事業効果 があつた(見 込める)	ロータリークラブ など町外との交 流が多い団体に 働きかけていつ てはどうか。	事業の継 続	引き続き新聞や広報、HP等 による町民への事業周知を 行い、より多くの町民に利用 してもらう。		
					指標②																
			H28年度	453,600	指標③																
12	広域連携交流推進事 業	オホーツク管内町村と東京23区(江東区)の都 市部との連携により、農林水産物を通じた消費 地との交流・PRや地域に密着した体験観光・お 試し暮らし等を通じた交流人口の増加を推進す る。 また、オホーツク地域が一体となって、イメー ジ戦略を推進することにより、都市部への知名 度向上を目指し、交流人口の増加や物産交流 へつながっていく。	H27年度	-	指標①	連携事業取組件数	1	件	H29.3	-	1	指標値を達成し 事業効果があつた	28年度は東京都江東区とオホーツク管内15町村が交流連携事業とし て、江東区での環境フェア出展及び江東区職員のオホーツク管内 視察研修を行い、今後の継続と推進について協議を行った。	28年度はオホーツク町村会が国交付金を活用 したため、町村の負担金なし。	平成28年6月5日江東区環境フェア 平成29年1月25日～27日江東区職員 オホーツク管内視察研修	指標値を達 成し事業効 果があつた	事業の継 続	管内市町村と連携し、更なる 展開を図る。			
					指標②																
			H28年度	0	指標③																
13	元氣な起業家応援事 業	・起業・創業に必要な経費の支援(補助率2/3) ・空き店舗家賃補助(補助率10/10) *上記2項目の併用を可とし、合わせて200万 円の限度額	H27年度	11,820,279	指標①	起業・創業支援件数	3	件	H29.3	6	4	指標値を達成し 事業効果があつた	起業資金の支援により、起業への後押しが出来、新規業種を含め4 件の実績となった。	起業家支援事業補助金 :8,000,000円	○飲食店 2件(焼肉屋・パン屋) ○家具屋(製造販売) 1件 ○アクセサリー店(製造販売) 1件	指標値を達 成し事業効 果があつた	事業の継 続	雇用の創出により地域経済 の活性化が図られるため。			
					指標②																
			H28年度	8,000,000	指標③																
14	中小企業利子補給等 制度のうち新規起業 家融資制度	中小企業を支援するための制度のうち、新規起 業家を応援するための事業。起業する方 の支援として、運転資金2,000万円、設備資金3,000 万円以内の融資を実施する。また、利子補給 20%、保証料100%を償還年次分割給付を実施 する。	H27年度		指標①	融資件数	2	件	H29.3	0	0	指標値を下回っ たものの事業効 果があった(見 込める)	融資希望者が居なかったため実績は無かったが、当該制度を維持 することにより新規起業への後押しが図られると考える。 (平成27年度からは起業する際に、当該融資を受けるより、自己資 金と「元氣な起業家応援事業」における補助金で起業できたため、 希望者がいなかった。)		指標値を下 回ったもの の事業効果 があつた(見 込める)	事業の継 続	制度の継続により起業・創 業支援を図る。				
					指標②																
			H28年度	0	指標③																
15	がんばる商店街応援 事業	専門家による経営指導、店舗のイメージアップ に要する経費への支援:補助率1/2、上限100 万円	H27年度	20,147,000	指標①	リフォーム件数	20	件	H29.3	31	27	指標値を達成し 事業効果があつた	店舗機能の維持・向上とともに、店舗のイメージアップにより、商店 街における集客数が増加が図られ、今後においても経営の安定化 が見込まれる。	店舗リフォーム促進支援事業補助金 : 19,156,000円	○飲食店 13件 (スナック・バー8・カフェ1・食堂3・焼肉屋 1) ○自動車等販売・整備業 3件 ○菓子製造販売業 1件 ○薬局 1件 ○家具販売 1件 ○燃料店 1件 ○自転車販売店 1件 ○総菜店 1件 ○新聞販売所 1件 ○電器店 1件 ○理美容業 2件 ○釣具店 1件	指標値を達 成し事業効 果があつた	空き店舗活用と 絡めて工夫した 制度にしたら、 もっと広がり を魅せるのでは ないか。	事業の継 続	商店街の活性化により、商 工業者の所得向上が図られ るため。		
					指標②																
			H28年度	19,156,000	指標③																
16	美幌町商店街活性化 事業 ↓ 商店街イベント事業 (H29年度)	商店街を活性化するためのイベントへの支援	H27年度	5,397,828	指標①	イベント件数	5	件	H29.3	-	5	指標値を達成し 事業効果があつた	各イベントとも多くの町民が足を運び、各イベントにおいて販売促進 へと繋がった。	商店街活性化事業補助金 : 2,210,000円	○北1丁目ナイターセール ○中央商店会おまつり広場 ○生き生き商店街夏の感謝祭 ○新町ふれあいゆうゆう祭 ○スマッピーカードびほろ年末年始大売 り出し	指標値を達 成し事業効 果があつた	事業内容 を見直し 発展させ る	更なる事業効果の向上を目的 としてイベント内容の見直し を図り実施する。			
					指標②																
			H28年度	2,210,000	指標③																
			H29年度	3,050,000	指標①	イントシール消費枚数	120,000	枚	H30.3												
					指標①	抽選会来場者数	1,500	人	H30.3												